



不二フテックス株式会社

東京都千代田区神田錦町3-19-1 ☎ (03) 3293-5681

第70期 | 株 主 通 信 |

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

健康創造志

経営理念

《我が社の目的》

我が社は世界の人々の健康と豊かな暮らしに
貢献し、人々に喜ばれ信頼される企業になる。

《我が社のあり方》

我が社は優れた製品を創造し、高度な品質管
理の下で製造・販売を行い、収益力の高い企
業になる。

《我々の志》

我々は志を高くし、仕事を通じて自己の成長
を図るとともに、協調して会社の発展に尽力
し社会に貢献する。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

第70期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の株主通信をお届けするにあたりまして、当連結会計年度の業績の概況をご報告するとともに一言ご挨拶申し上げます。

医療機器事業の展開する主力のコンドームについては、国内市場環境は依然として厳しい状況が続くものの、海外市場においては継続的かつ安定的な受注が確保できました。精密機器事業においては、国内外の製造関連企業を中心とした顧客ニーズに対応すべく、ハイレベルな製品開発と積極的な提案営業を展開いたしました。また、生産体制強化を狙いとした工場増設により生産設備の稼働も安定し、業績向上に大きく寄与いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、79億2千7百万円と前年同期と比べ6億9千7百万円(9.6%)の増加となりました。

また、利益面につきましては、価格競争激化、新製品販売に向けた販促費投入、設備導入による減価償却費負担や在庫評価減等の利益圧迫要因の一方、増収増産効果に加え、生産合理化と諸経費の節減に努めた結果、営業利益は6億4千8百万円と前年同期と比べ9千8百万円(17.8%)の増益、経常利益は5億6千3百万円と前年同期と比べ5千6百万円(11.2%)の増益となりました。しかしながら、一部事業用資産について減損損失4億9百万円の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は9千1百万円と前年同期と比べ3億円(△76.6%)の減益となりました。

株主の皆様への配当につきましては、当事業年度の業績を勘案し、当事業年度末日（平成30年3月31日）を基準日とする配当金を1株につき50円とさせていただくことを、平成30年5月15日開催の取締役会において決議いたしました。

当社は、創立以来一貫して「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」を経営理念とし、時代をリードする技術革新を進めることで、医療機器などの生活用品からショックアブソーバなどの産業用機器に至る幅広い製品を世界に届けてまいりました。これからも、多様化する時代の要請に応えるため、さらに技術開発力を高めて、新しいニーズへとつながる製品を開発・提供してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



取締役社長

伊藤 研二



専務取締役

岡本 昌大

セグメント別の概況

医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては主要な販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストアを中心に販路開拓に注力いたしました。加えて継続的にWeb広告や販促企画を含めたネット販売への取り組みを強化、推進すると同時に、ドラッグストア、量販店とのタイアップ企画や販促キャンペーンへの展開、SNSを媒体とした販促活動にも取り組みシェア拡大を推進いたしました。また、安定生産と増産に向けて継続的に設備の更新、整備に取り組みました。



ザ・ベストのシリーズ商品として、洗い流し不要のローション「ザ・ベストローションプラチナム」を発売いたしました。潤い成分「ヒアルロン酸Na」、「水溶性コラーゲン」を配合し、使用後のベタつきも軽減したローションとなっております。

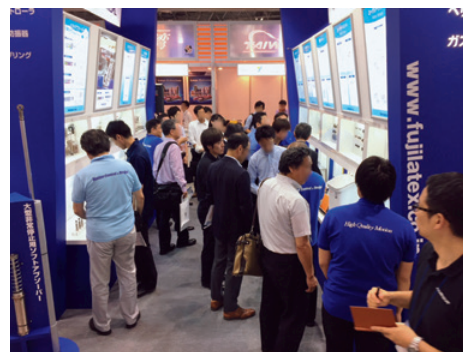


SKYNのシリーズ商品として、数量限定で「SKYN Elite」を発売いたしました。SKYNシリーズ最薄の贅沢なコンドームとなっております。昨年度に引き続き有名女性誌にも取り上げられ、好調な売り上げを維持しております。

国内市場では依然として消費の減少傾向、価格の2極化、加えて天然ゴムに代わる新素材製品のシェア上昇傾向も続きました。天然ゴム素材製品を主体とする当社は厳しい展開を余儀なくされましたが、新素材コンドームSKYNIに新商品を投入しラインナップを充実させた結果、増収となりました。また、輸出については、日本製高品質をポイントに継続的な営業活動と生産体制構築により受注は継続的・安定的に確保することができました。冷却商品は定番化し売上、利益とも前年の水準を維持いたしました。

精密機器事業

主力のショックアブソーバおよびロータリーダンパーは、景気回復に伴い国内市場の受注は引き続き堅調に推移いたしました。ユーザー評価の高い主力製品の小型ショックアブソーバおよび小型ロータリーダンパーが、製品バリエーション強化と性能面の進化により、売上と利益に安定的に寄与いたしました。主要な市場として位置付け、開拓を継続している住宅設備関連は、住宅着工件数の減少があったものの新規採用の増加等により安定的な売上を確保できました。半導体、液晶等の製造設備関連は中国での需要が拡大し、一般産業用生産設備向けショックアブソーバは大幅な受注増となりました。また、家電、複合機関連、自動車関連の分野でも受注は堅調に推移いたしました。一方、輸出は新たな海外からのオファーが具体化したものの、当社の既存大手取引先の生産調整等が続き、前年を下回る実績となりました。



機械部品の総合展示会である「機械要素技術展」には東京・名古屋・大阪の3都市すべてで出展いたしました。
いずれも大盛況の内に会期を終えることができました。

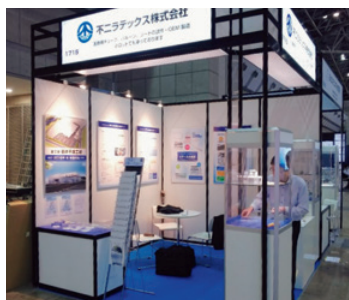
メディカル製品については、医療現場での感染防止意識の高まりやアレルギーフリー素材製品の認知度の向上につれて、超音波診断装置等のプローブカバー（感染予防製品）、内視鏡用の医療バルーンを中心として引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は21億9千4百万円と前年同期と比べ9千6百万円（4.6%）の増加となりました。

セグメント損益は、増産・増収効果は認められたものの、製造ライン改造途上による稼働率の低下や減価償却費負担、不良在庫の処分等により、9千5百万円の損失（前年同期は2千1百万円の損失）となりました。



昭和52年より販売をしております、子宮内避妊用具「FD-1」を医療現場のニーズに合わせてリニューアルし、子宮内避妊用具の啓蒙に取り組んでまいります。



医療用バルーン、チューブの売上拡大を図るために、初めてMEDTEC展示会に出展し、ご来場をいただいたお客様より多くの引合いをいただきました。



当社緩衝機器への注目度は年々向上しております。
中には、熱心にメモを取りながら製品説明に耳を傾けるお客様も少なくありません。

利益面については、増収増産効果によるコスト低減に加え、従来から推進している製造ラインの全自動化・半自動化をベースにした増設が生産効率化に大きく寄与したことで原価低減が実現いたしました。また、人員の適正配置を含めた生産効率化と製造経費の低減、販売費節減への継続的取り組みを行いコスト圧迫要因を吸収いたしました。

この結果、売上高は51億円と前年同期と比べ5億8千1百万円（12.9%）の増加となりました。

セグメント利益は、11億3千万円と前年同期と比べ2億6百万円（22.4%）の増益となりました。

売上高、セグメント利益とも過去最高を達成することとなりました。

SP事業

主力のゴム風船が中心となる販促用品市場はニーズの多様化が続き、景気が回復基調にある中、広告販促活動やイベント等も徐々に拡大し、加えて従来から継続している提案営業による新企画商品や主力のゴム風船およびフィルムバルーンの受注も徐々に回復し売上に寄与いたしました。売上、利益とも回復基調にて推移いたしました。物流の見直しにより間接コストを削減したものの、他社競合等により採算面が厳しく利益を圧迫し減益となりました。

この結果、売上高は5億9百万円と前年同期と比べ6百万円（1.2%）の増加となりました。

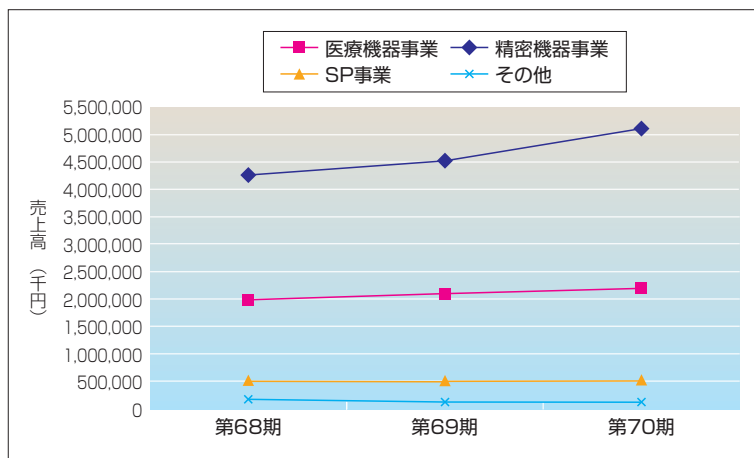
セグメント利益は、2千1百万円と前年同期と比べ1百万円（△7.2%）の減益となりました。

その他

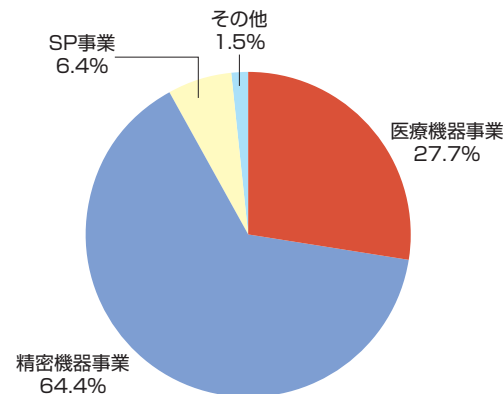
売上高は1億2千1百万円と前年同期と比べ1千2百万円（11.6%）の増加となりました。

セグメント利益は、1千7百万円と前年同期と比べ1百万円（12.9%）の増益となりました。

区 分	第68期		第69期		第70期 (当連結会計年度)		前年度比増減(△)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減(△)率
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
医療機器事業	1,982,272	28.7	2,098,208	29.0	2,194,404	27.7	96,195	4.6
精密機器事業	4,253,582	61.6	4,519,003	62.5	5,100,891	64.4	581,887	12.9
S P 事 業	517,557	7.5	503,715	7.0	509,980	6.4	6,264	1.2
そ の 他	155,048	2.2	109,261	1.5	121,963	1.5	12,702	11.6
合 計	6,908,460	100.0	7,230,187	100.0	7,927,238	100.0	697,050	9.6



● 売上構成 (当連結会計年度)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

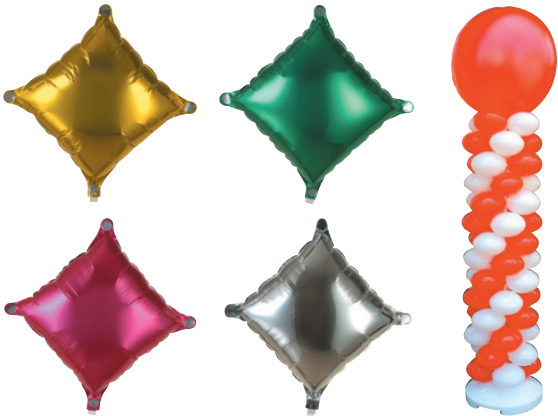
	当連結会計年度 平成30年3月31日現在	前連結会計年度 平成29年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	5,929,668	5,546,097
現金及び預金	1,582,702	1,604,842
受取手形及び売掛金	2,209,090	2,018,183
電子記録債権	140,505	106,120
商品及び製品	411,948	349,438
仕掛品	731,504	645,236
原材料及び貯蔵品	716,918	628,653
繰延税金資産	79,575	69,870
その他	58,219	124,820
貸倒引当金	△796	△1,067
固定資産	4,642,274	3,961,543
有形固定資産	4,059,672	3,478,906
建物及び構築物	1,280,749	1,377,620
機械装置及び運搬具	432,407	445,054
土地	1,848,498	1,179,632
リース資産	297,049	348,677
建設仮勘定	132,610	44,666
その他	68,357	83,255
無形固定資産	90,487	100,352
投資その他の資産	492,114	382,283
投資有価証券	353,385	305,304
繰延税金資産	124,224	73,036
その他	16,871	9,213
貸倒引当金	△2,366	△5,271
繰延資産	9,257	5,241
資産合計	10,581,200	9,512,882

	当連結会計年度 平成30年3月31日現在	前連結会計年度 平成29年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	4,486,485	4,165,935
支払手形及び買掛金	313,158	373,479
電子記録債務	1,093,902	844,045
短期借入金	1,708,000	1,308,000
1年内償還予定社債	—	420,000
1年内返済予定長期借入金	517,448	426,660
その他	853,973	793,750
固定負債	3,163,475	2,488,512
社債	400,000	200,000
長期借入金	2,038,561	1,569,010
リース債務	369,583	313,637
再評価に係る繰延税金負債	122,911	122,911
退職給付に係る負債	171,525	220,061
その他	60,892	62,892
負債合計	7,649,960	6,654,447
(純資産の部)		
株主資本	2,547,601	2,521,229
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	1,692,210	1,663,894
自己株式	△36,072	△34,127
その他の包括利益累計額	383,638	337,205
純資産合計	2,931,240	2,858,434
負債及び純資産合計	10,581,200	9,512,882

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	7,927,238	7,230,187
売上原価	5,927,417	5,347,104
売上総利益	1,999,821	1,883,083
販売費及び一般管理費	1,351,801	1,333,066
営業利益	648,020	550,016
営業外収益	28,547	21,959
営業外費用	112,695	64,711
経常利益	563,872	507,264
特別損失	412,664	749
税金等調整前当期純利益	151,207	506,515
法人税、住民税及び事業税	140,229	81,792
法人税等調整額	△80,854	32,200
当期純利益	91,832	392,521
親会社株主に帰属する当期純利益	91,832	392,521



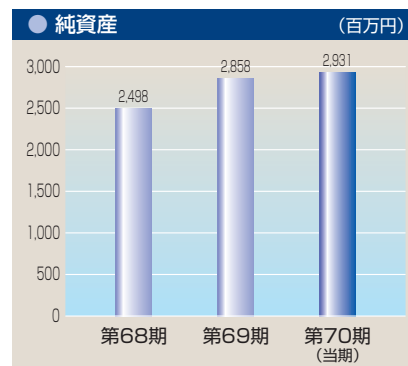
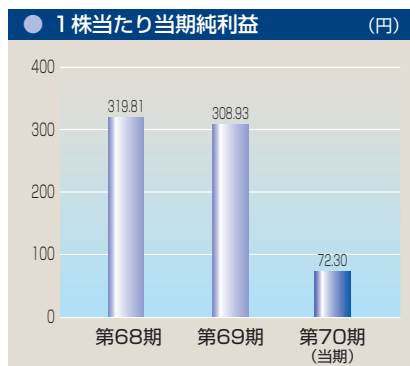
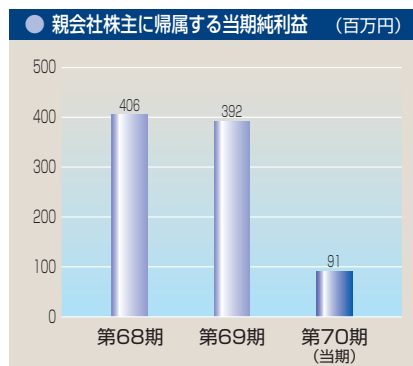
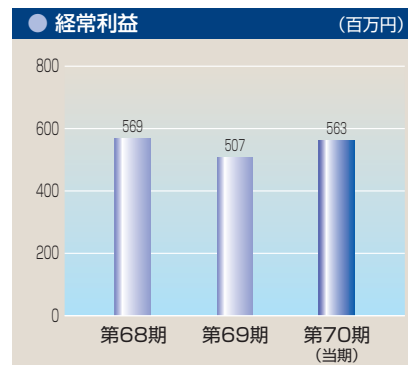
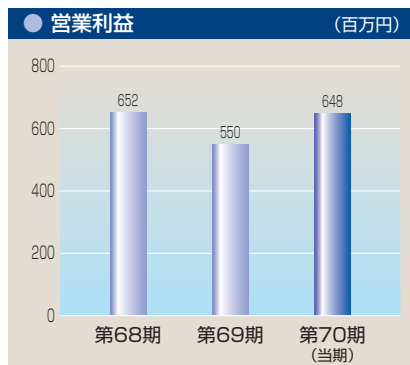
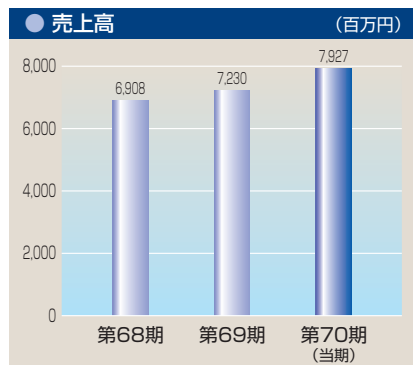
連結株主資本等変動計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	643,099	248,362	1,663,894	△34,127	2,521,229	86,902	278,760	9,036	△37,493	337,205	2,858,434
当期変動額											
剰余金の配当			△63,515		△63,515						△63,515
親会社株主に帰属する当期純利益			91,832		91,832						91,832
自己株式の取得				△1,944	△1,944						△1,944
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						29,608		2,757	14,067	46,433	46,433
当期変動額合計	—	—	28,316	△1,944	26,371	29,608	—	2,757	14,067	46,433	72,805
当期末残高	643,099	248,362	1,692,210	△36,072	2,547,601	116,511	278,760	11,793	△23,426	383,638	2,931,240

区 分	平成28年度（第68期）	平成29年度（第69期）	平成30年度（第70期）
	連 結	連 結	連 結
売 上 高（百万円）	6,908	7,230	7,927
営 業 利 益（百万円）	652	550	648
経 常 利 益（百万円）	569	507	563
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	406	392	91
純 資 産（百万円）	2,498	2,858	2,931
1 株 当 たり 当 期 純 利 益（円）	319.81	308.93	72.30
自 己 資 本 比 率（％）	29.1	30.0	27.7

（注）平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、第68期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



● 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商 号 不二ラテックス株式会社
英 文 商 号 FUJI LATEX CO., LTD.
設 立 昭和24年3月
資 本 金 643,099,600円
当 社 H P <https://www.fujilatex.co.jp>

1. 当社グループの主要な事業内容

医療機器事業 コンドーム、水枕、プローブカバーの製造および販売
精密機器事業 緩衝器の製造および販売
S P 事 業 バルーン、販売促進用品の販売
そ の 他 食容器の製造および販売

2. 事業所所在地

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
大 阪 支 社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-3 8階
名古屋営業所 〒465-0025 名古屋市名東区上社4-202-5 1階
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11 8階
栃 木 工 場 〒328-0006 栃木県栃木市国府町150
新 栃 木 工 場 〒328-0124 栃木県栃木市野中町1276
真 岡 工 場 〒321-4301 栃木県真岡市西田井1402-3
ドイツ代表事務所
Königsallee 92A 40212 Düsseldorf,
Germany

3. 系列会社

不二ライフ株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1 4階
福集萊泰庫斯（上海）貿易有限公司
Room 1113-1115, No.360,
Changshou Road, Putuo District,
Shanghai, China. 200060

● 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

1. 概要

発行可能株式総数 3,000,000 株
発行済株式総数 1,286,199 株
株 主 数 1,401 名

2. 大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
岡 本 和 子	161	12.76
岡 本 昌 大	142	11.23
岡 本 和 大	130	10.30
岡 本 明 大	111	8.82
不二ラテックス共栄会	59	4.65
(株) りそな銀行	40	3.15
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	35	2.76
岡 本 正 敏	33	2.61
森 貴 義	30	2.36
(株) 大 木	27	2.17

(注) 持株数は表示単位未満を切り捨てて表示しており、持株比率は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

● 役員の状況 (平成30年6月27日現在)

取締役社長	伊 藤 研 二	取 締 役	近 藤 安 弘
専務取締役	岡 本 昌 大	取 締 役 常勤監査等委員	柏 村 明 克
常務取締役	畑 山 幹 男	*取 締 役 監査等委員	深 沢 岳 久
取 締 役	賀 長 信 吉	*取 締 役 監査等委員	辻 新 六

* 社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会基準日	毎年3月31日
剰余金配当基準日	毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎ 0120-707-843
(電話照会先) 同 取 次 窓 口	日本証券代行株式会社の支店および三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店 (「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」を除く) 電子公告により行います。URLは以下のとおりとなります。 (URL https://www.fujilatex.co.jp)
公 告 方 法	ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、日本証券代行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の日本証券代行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

不二ラテックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1

03-3293-5681

<https://www.fujilatex.co.jp>

